

氏 名 生 年 月 日	みなみだ むねとし 南田 宗俊 大正 4 年 1 月 3 日 8 9 歳
住 所	石川県金沢市十三間町 1 0 8
職 業	自営業
功績の概要	同氏は、昭和 2 6 年に自宅前の犀星路に桜の木が植栽されたのをきっかけに、河川的美観向上のため、花壇をつくり花苗の植栽・管理及び美化清掃を行い始めた。 昭和 3 6 年には地域ぐるみで積極的に緑化・美化活動を行うため、「犀星路を美しくする会」を結成し、現在に至るまで会長を務め、自ら中心となって地域の美化や緑化活動を実践している。 河川敷の緑化活動においては、川との景観にマッチするよう、広い河川敷にプランターや花壇をつくり、四季を感じさせる花々を植栽・管理し、訪れる方々の目を楽しませている。 花苗のほとんどは、自らが種などから育て、花壇の肥料は、川沿いの落ちた花や葉を掃き集めて作った堆肥と米糠を使用するなど、環境にもやさしい工夫を施し、きれいな花々を咲かせ育てている。 また、花苗の植替え時には、地域の子供たちと共に花壇作業を行い、花や木が持つすばらしさや大切さを伝え、地域の人々から「南田のおじいちゃん」と呼ばれ、親しまれている。 さらに、地域住民誰もが花や木を育てられるよう、自分の経験を踏まえた花苗の植栽・管理方法の指導を行っている。

[団 体]

名 称	おおたにろうじん 大谷老人クラブ
所 在 地	兵庫県美方郡美方町大谷 2 2 8
代 表 者	会長 井 上 文 洋
功 績 の 概 要	同クラブでは昭和 4 0 年の設立当初から地域奉仕活動の一環として、道路緑化ボランティアに取り組んでいる。 活動の中心になっているのは、町道八田線の延長約 1 5 0 0 m の区間であり、プランター約 4 0 個を設置し、道路脇の花壇や路肩にもハウセンカ、コスモス、サクラソウ、カンナ、スイセン、チューリップ、パンジーなどの花々を年 2 回程度植栽するとともに、サツキなどの植樹帯の手入れも行っている。 こうした活動とともに、夏季の水やりなどのきめ細かな維持管理を精力的に行っており、美しく利用しやすい道路が保たれ、自動車運転者や歩行者に心和む環境を提供している。 また、同クラブの活動する道路は「温泉保養館おじろん」、「ふれあい歴史公園」、「吉滝キャンプ場」などの町の中心観光施設に通じる道路となっていることから、町内外から訪れる観光客等への歓迎に努める意味でも重要な活動の一つとなっている。

[団 体]

名 称	おおたわらしょうわかい 大田原昭和会
所 在 地	岡山県和気郡和気町大田原 3 6 2 - 5
代 表 者	会長 国近 義博
功績の概要	同会は昭和 5 1 年に設立され、地域ボランティアや地域交流事業など多彩な活動を実践している団体であるが、その活動拠点が吉井川水系金剛川と隣接していることから、発足当時から河川敷の美化や緑化等の河川環境の保全活動に精力的に取り組んでいる。 また、同会は国土交通省の「金剛川整備事業」にも地元リーダーとして企画段階から参画、工事完成まで積極的に作業協力し、同事業の自然と調和した多自然型の川づくりに尽力した。この努力により、金剛川は現在も町内外を問わず多くの人々に「緑と清流の水辺」として親水空間を提供するとともに、かつて流域に生息していたホタルやカワセミなどが再び見られるようになるなど、清流のイメージが復活した河川となっている。 平成 1 3 年からは、金剛川河川敷の親水広場の「水辺の楽校」において、家族連れなどが川にちなんだ様々な遊びを楽しむ「こどもの夏」を主催し、さらに通学路の路肩への植樹を行うなど、自然体験活動を通した河川愛護や緑化思想の普及啓発に大きく貢献している。

[団 体]

名 称	くるまがわく 車 川 区
所 在 地	三重県多気郡勢和村大字車川
代 表 者	区長 水野 益夫
功績の概要	同地区では、古くから「自分の住むところは自分達できれいにしよう」と地区全体で地区内の道路や河川の除草、清掃を行っている。 平成５年頃からは、道路沿いの転作田２ヶ所、９１５㎡を利用してチューリップやコスモス、水仙など四季折々の花を植えて人々の心を和ませるとともに、村の花「ささゆり」の保護、増殖にも取り組み、道路沿いの山に植え、また、県道や川沿いの延べ約１ｋｍにわたりアジサイ、水仙等を、さらには文後トンネルまでの村道約１ｋｍに水仙、コスモス等を植栽している。こうした活動により花の咲く頃はまるで花道のようになりドライバーや歩行者など多くの人々の目を楽しませている。 平成１１年度には県の「ふれあいの道里親事業」の認定を受け、道路法面等にあじさいや水仙を植栽し、道路緑化に努めるとともに、平成１５年には、道路沿いを全て美しくしようとガードレールの清掃を行い、色とりどりの草花と真っ白なガードレールによる良好な道路景観の保全に努めるなど、積極的な活動を展開している。

[団 体]

名 称	ざいだんほうじんふくおかけんすいげんのもりききん 財団法人福岡県水源の森基金
所 在 地	福岡県福岡市中央区天神 3 - 1 0 - 2 5
代 表 者	理事長 中島 孝之
功績の概要	同基金は、昭和 5 3 年の大湯水を契機に翌 5 4 年に都市住民による森林整備の費用負担制度として全国に先駆けて設立された。以来 2 5 年間の実績は延 2 1 万 ha、助成額は 4 5 億円余となっている。 同事業により、降水の森林土壌内への浸透量は大幅に改善され、水源涵養機能のより高い森林へと移行し同県の水資源の確保に大きく貢献している。 平成 1 1 年には県内 2 箇所にモデル水源林が設置され、延 1 , 1 0 0 人による県民参加の森づくりが行われた。 また、「水と緑のシンポジウム」開催（隔年、延 2 , 8 0 0 人参加）や、小・中学生対象の「水源の森ポスター原画コンクール」実施（応募総数延 4 1 , 0 0 0 点）等、「水と緑」の普及啓発も併せて行っている。 森林の公益的機能への期待は高まるものの、林業関係者による森林整備が十分にできない現状では、本基金が果たす役割は多大であり、設立以来、一貫して森林整備を通じた水資源の安定的確保に努めてきた本基金の功績は計り知れない。

[団 体]

名 称	なりた ^{はな} 花 ^{かい} の会
所 在 地	千葉県成田市宝田 1 1 3 5
代 表 者	会長 小川 善嗣
功績の概要	同会は、成田空港と成田山新勝寺を有し年間をと おして多くの人々が行き交う成田市で、昭和 5 7 年 から現在に至るまでの約 2 2 年間にわたり、花のある 街づくりや快適な環境を目指して「花の輪運動」 を展開している。 同会では、「咲かせよう街に心にきれいな花を」 をキャッチフレーズに、行政機関や協賛企業、一般 市民などの協力者とのコミュニケーションを運動の 軸として、ＪＲ成田駅前通や国道 5 1 号線市役所下 等の街頭花壇やハンギングバスケットに、また、公 共施設や駅コンコース等のプランターに、季節の草 花を植栽し、定期的な維持管理も行い、市民や同市 を訪れる人々の目を楽しませ、潤いと安らぎのある 街なみを演出している。 また、昭和 5 7 年から草花 1 , 0 0 0 鉢を市民に 格安で配布する催しをほぼ毎月開催し、市民に花の ある暮らしを提供しているほか、平成 4 年からは、 市内の全小中学校を対象にパンジーやノースポール の苗等を春と秋の年 2 回配布するなど、市民や児童 等が参加する花のある街づくりの推進や緑化思想の 普及啓発に大きく寄与している。

[学 校]

名 称	なごやしりつたかくらしょうがっこう 名古屋市立高蔵小学校
所 在 地	名古屋市熱田区花町 7 - 3 3
代 表 者	校長 古田 憲彦
功績の概要	同校は、名古屋市の金山駅近くに位置する、児童約 2 9 0 人の中規模校である。 同校では、感動する心や思いやりの心、公共のために尽くす心をもった児童を育てたいとの願いのもと、「花いっぱい運動」を通して、勤労の尊さや自然を愛する心を体得させる活動を実践している。 この「花いっぱい運動」は、「学校花壇」を中心に昭和 5 0 年に始まり、その後、昭和 5 5 年からは学区内の地域花壇にまで拡大して行われ、現在では、「地域美化」、「一人一鉢」、「学校花壇」と呼ばれる活動を 3 本の柱として、1 3 箇所の公園や広場の 2 0 花壇に活動区域を広げ、チューリップやサルビア、マリ - ゴールドといった草花を植栽管理している。 「地域美化」では、官公署や福祉施設等にプランターに植えたチューリップやミニヒマワリを配布したり、保護者や地域の方々の協力を得て、学区内の地域花壇にチューリップやサルビア、マリーゴールドを育てたりしている。この花壇では定期的に保護者や地域の代表者による花壇審査を開催して表彰活動を行うなど、地域に根ざした活動となっている。

[地方公共団体]

名 称	たしままち 田島町
所 在 地	福島県南会津郡田島町大字田島字後原甲 3 5 3 1 - 1
代 表 者	田島町長 室井 英彦
功績の概要	同町は、昭和 5 6 年に積極的な水源林造成等に努めたことにより水資源功績者表彰を受賞したが、その後、水源ダム上流部の官行造林を町が買い取り、立木を保存して水源機能の保全を図っている。また、町有林の一部を南会津地方国民参加の森林づくり推進協議会を通し、森林ボランティアによる森林整備のフィールドとして積極的に提供し、森林づくりに対する意識高揚に努めている。 さらに、都市と農村の交流を目的に平成 1 0 年に『交流の森』約 0 . 2 ha を造成し、交流都市である東京都狛江市の市民とともにトチノキ等を植栽した後も樹木の成長に合わせた施業を行い、交流を通じて森林保護意識の高揚や緑化思想の普及啓発を推進している。 このほか、国指定天然記念物に指定されている駒止湿原の周辺の遊休開拓地を平成 1 1、1 2 年に公有化し、隣接する昭和村と共同で『駒止の森ブナ復元事業』による湿原保全に取り組み、平成 1 5 年はボランティアの協力により 1 , 5 0 0 本のブナの苗木を植栽するなど、緑化による天然記念物の保全や水源地の保護という面から評価されている。